

はじめに

院 長 王 丸 道 夫



平素より当院の地域医療連携にご協力を賜り、こころより感謝申し上げます。

2020 年年初に発生した新型コロナウイルス感染症ですが、新たな変異株による第 7 波が全国各地で猛威を振るっておりましたが、ここ最近（2022 年 9 月現在）は感染者数も減少傾向にあり、国の方針も感染隔離期間の見直しが行われるなど少しずつ制限緩和の方向に進みつつあります。

2021 年度の当院の明るい話題としては、新たに 2 名の副院長を迎えることが出来ました。また、当院の柱である認知症疾患医療センターも 10 周年を迎えることが出来ました。改めまして基幹型である熊本大学病院神経精神科、熊本県内各地域の拠点型認知症疾患医療センターの医療機関、熊本県認知症対策・地域ケア推進課の皆様、また、有明圏域では各市町村の地域包括ケアセンターや医療・介護・福祉の関係者の皆様にご支援頂き感謝申し上げます。

認知症疾患医療センターについては、これまで基幹型センターから週 1 回当センターの専門外来の診察を担当して頂いていた石川智久先生を、2022 年 1 月に当院のセンター長（副院長兼務）としてお迎えしました。認知症については、認知症疾患医療センターともう一つの柱である初期集中支援チーム事業を併せて、地域における認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築を目指しています。

今年も当院の歩みを皆様に幅広く知っていただく機会とするために、年報を発刊することとなりました。一年、一年を振り返りながら、地域における将来の医療提供のあり方を模索していきたいと考えております。

今後とも、当院は地域の皆様が安心して過ごしていただけるように、引続き当院の理念である『思いやり医療』『トータルケア』『チーム医療』の三本柱をもとに、職員一同、皆様からの更なる信頼を得ることが出来るよう、すべての人の『こころ』の健康の維持・増進に働きかけられる病院をめざして参りたいと思います。引続きご支援、ご指導宜しくお願い致します。





フォトコンテスト入賞作品
「パンダゆたんぽ」

I. 病院概要

病院理念

1. 思いやり医療

常に思いやりのことを忘れず、患者様中心の医療を行います。

2. トータルケア

地域・家庭・病院が一体となって、総合的で一貫したケアを行います。

3. チーム医療

医療と保健・福祉が連携して、チーム医療を行います。

基本方針

私たちは安全で信頼される医療を根本に、上記の3つの理念を柱として、
人にやさしい病院づくりと、精神科医療サービスを提供する機関として、
地域社会に開かれた病院づくりを目指しています。



I

病院概要

名 称	医療法人 洗心会 荒尾こころの郷病院
所在地	〒864-0041 熊本県荒尾市荒尾 1992 番地
理事長	熊本 孝司
院 長	王丸 道夫
診療科目	精神科・心療内科・内科・歯科
診察時間	診療時間 9:00～12:30 13:30～17:00 受付時間 8:30～12:00 13:00～16:00 ※新規の受診に際しましては予約制となっております
休診日	土・日、祝日 正月（12/30～1/3）

荒尾こころの郷病院 病床数 272 床

看護等基準

- ・ 精神病棟入院基本料 15:1
看護補助加算 2 50:1
看護配置加算（看護師 70%以上配置）
重度認知症加算
→[南 1 病棟 60 床 ・ 5 病棟 54 床]
- ・ 精神療養病棟入院料
退院調整加算
重症者加算 1
→[南 2 病棟 56 床]
- ・ 認知症治療病棟入院料 1（認知症治療病棟 1 に個室 12 床あり）
退院調整加算
認知症夜間対応加算
→[西 1 病棟 52 床 ・ 西 2 病棟 50 床]
- ・ 救急医療管理加算
- ・ 医療保護入院等診断料
- ・ 医療安全対策加算 1（医療安全管理者専従配置）
- ・ 医療安全対策地域連携加算 1
- ・ 患者サポート体制充実加算
- ・ 入院時食事療養（1）
- ・ 認知症専門診断管理料
- ・ 精神科訪問看護
- ・ 精神科デイ・ケア（大規模）
- ・ 精神科デイ・ナイト・ケア
- ・ 精神科応急入院施設管理加算
- ・ 精神科身体合併症管理加算
- ・ 後発医薬品使用体制加算 1
- ・ 診療録管理体制加算 2
- ・ 薬剤管理指導料
- ・ 精神科作業療法
- ・ 精神科ショート・ケア（大規模）
- ・ 臨床研修病院入院診療加算（協力型）

1. 荒尾こころの郷病院の使命

私たちは、組織体として医の倫理に基づき、精神障害者の医療、福祉ならびに保護を行い、社会復帰を促進します。

2. 精神科病院の倫理

私たちは、奉仕の精神をもって、自己の技能と良心を医療に捧げるとともに、人間愛をもって、患者様ならびにそのご家族に接します。

3. 人権尊重と守秘義務

私たちは、とくに患者の基本的人権を尊重するとともに、守秘義務についても厳重に守ります。

4. 生涯研修

当院に勤務するすべての従事者は、医学的知識向上のため、たゆみなき研修に励みます。

5. 地域医療

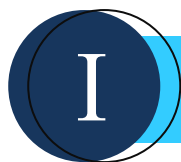
荒尾こころの郷病院職員は地域における責務を認識し、その地域の精神医療のみならず、精神保健福祉活動にも積極的に参加します。

6. 病院管理と運営

病院管理運営は、あくまでも医師が責任をもって、医学的良心を堅持し、営利のみを目的とした医療は厳に慎みます。

荒尾こころの郷病院 職員の3つの誓い

- ・ ご利用者に喜んでいただける「こころのケア」を提供し、あらゆる患者様の権利を尊重していくこと
- ・ 患者様のご健康の回復を願い、笑顔で接すること
- ・ 健全なケア提供が継続できるように、病院全体を明るく、健康的に運営していくこと



患者さまの権利と責任

患者さまの権利

良質な医療を受ける権利

患者さまは、どなたでも平等に良質な医療を受ける権利があります。

選択の自由の権利

患者さまは、医療機関を自由に選択・変更する権利と、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

自己決定の権利

患者さまは、十分な説明と情報提供を受けた上で、治療方法などを自らの意思で選択・拒否する権利があります。

説明を受ける権利

患者さまは、病気の内容やその治療・検査などについて、分かりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。

情報の開示を求める権利

患者さまは、自分の診療記録の開示を求める権利があります。

プライバシーの保護と秘密を保持される権利

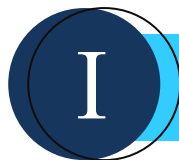
患者さまは、病院内でのプライバシーを守られる権利があり、診療の過程で得られた個人情報や医療上の秘密を厳守される権利があります。

尊厳を得る権利

患者さまは、いかなる時にも人格的に尊厳を得る権利があります。

患者さまの責任

- ・治療を受けられる患者さまとして、正確なご自身の精神的・身体的・社会的な情報を医師に伝えていただく責任があります。
- ・患者さまご自身が医療へ参加していただく責任があります。
- ・他の患者さまの診療に支障を与えない配慮をしていただく責任があります。



荒尾こころの郷病院のあゆみ

年	月	おもな出来事
昭和 35	4	法人設立
昭和 43	7	医療法人 洗心会 荒尾保養院開設 鉄筋 3 階建て本館 124 床 診療科目: 精神科・神経科
昭和 48	6	本館増築(増床) 272 床
平成 4	2	5 病棟増築
平成 5	9	入院時食事療養(Ⅰ)開始
平成 6		訪問看護開始
平成 7	8	精神科作業療法開始
平成 10	1	南病棟増築 1 階 老人性痴呆疾患療養病棟 A 南 1 病棟 60 床 2 階 精神療養病棟 A 南 2 病棟 56 床を開設 30 周年誌「ふれあい」発行
平成 12	3	南 1 病棟申請 60 床のうち 36 床の部分について介護療養型医療施設として指定
	4	薬剤管理指導料開始
	8	精神科デイ・ケア(大規模)開始
平成 13	4	精神科救急医療施設指定
平成 16	5	褥瘡患者管理加算開始
	7	医療保護入院等診療料開始
平成 17	9	南 1 病棟 介護療養型医療施設(36 床)指定辞退 老人性認知症疾患療養病棟 1 へ変更 (病床数変更 24 床→60 床)
平成 18	4	栄養管理実施加算開始 精神科ショート・ケア(大規模)開始 精神一般病棟 4 棟 216 床 (南 1 病棟 60 床 2 病棟 57 床 3 病棟 45 床 5 病棟 54 床)
	8	応急入院指定病院として指定
	12	特定病院及び特定医師の認定

年	月	おもな出来事
平成 19	7	【荒尾こころの郷病院】に改称 診療科目: 精神科・神経科・内科・心療内科
	8	管理棟・西病棟・給食室増築
	9	老人性認知症疾患治療病棟 1 102 床 (西 1 病棟 52 床 西 2 病棟 50 床) 精神一般病棟 2 棟 114 床 (南 1 病棟 60 床 5 病棟 54 床)
		歯科開設 診療科目追加
	10	精神科デイ・ケア、精神科作業療法室改築
平成 20	4	医療安全対策加算 I 開始 精神科身体合併症管理加算開始 精神科デイ・ナイト・ケア開始(週 1 日)
平成 21	6	精神科デイ・ナイト・ケア週 3 日へ変更
平成 22	4	救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算開始 後発医療品使用体制加算開始
平成 23	4	熊本県地域拠点型認知症疾患医療センター認定
	5	認知症専門診断管理料開始 グループホームわたぼうし開設
	6	認知症治療病棟 退院調整加算開始
	8	(財) 日本医療機能評価機構認定 Ver.6
平成 24	4	救急搬送患者地域連携受入加算開始
	6	患者サポート体制充実加算開始
平成 25	8	認知症初期集中支援チーム設置促進事業を荒尾市から受託
平成 29	10	(財) 日本医療機能評価機構 認定 3rdG
平成 30	4	王丸道夫院長 瑞宝小綬章受賞
	9	診療録管理体制加算 2 開始
	12	50 周年誌発行
令和 2	9	認知症夜間対応加算開始
令和 3	6	(財) 日本医療機能評価機構 更新



院内委員会一覧

委員会名	委員長	会議日時	
医療安全管理委員会	王丸	毎月第3月曜(ラウンド)	13:30～
C V P P P		毎月第4火曜(会議)	13:30～
転倒転落防止対策チーム		毎月第4月曜(ラウンド)	15:30～
院内感染委員会	二又	毎月第3木曜	15:00～
N S T 委員会	松山	毎月第4水曜	13:30～
褥瘡対策委員会	宮尾	毎月第4水曜	14:00～
摂食機能委員会	松山	奇数月第3水曜	13:30～
栄養管理委員会		6・9・12・3月第4水曜	13:30～
診療情報管理委員会	王丸	毎月第4火曜	医安終了後
I T 情報管理委員会	王丸	5・9・1月第1木曜	16:00～
個人情報保護委員会			
行動制限最小化委員会	重本	毎月第2木曜	15:30～
薬事委員会	清水	毎月第4火曜	医安終了後
教育委員会	王丸	毎月第1火曜	15:30～
レクリエーション委員会	前田	毎月第2月曜	15:00～
接遇委員会	前原	毎月第2木曜	16:00～
防火防災委員会	廣瀬	毎月第1月曜	13:30～
医療ガス安全管理委員会		随時	
退院推進委員会	垣内	毎月第3火曜	15:30～
広報委員会	大淵	毎月第4火曜	16:00～
労働安全衛生委員会 (ハラスメント委員会)	廣瀬	毎月第4火曜	医安終了後
職場のメンタルヘルス事業	重本	随時	
倫理委員会	王丸	随時	
患者サポート体制充実対策委員会	王丸	随時	
認知症対策委員会	金丸	毎月第3火曜	13:30～
寝具管理委員会	田代	毎月第4水曜	15:00～
看護基準手順会議	佐藤	毎月第1木曜	13:30～
グループホーム委員会	王丸	毎月第4木曜	16:00～
電子カルテ準備委員会	森藤	随時	16:00～
病棟クランク会議	黒木	2・6・10月	14:00～



院内会議一覧

会議名	目的	担当	会議日時
三役会	病院内で生じた課題に対し検討を行い、病院全体の運営上の意思決定機関とする	王丸	随時 13:00～
管理運営会議	理事会・院長会の報告 現在・将来に向けての問題点や検討事項 返戻報告・検討	王丸	4・7・10・1月 第2火曜 13:30～
医局会議	チーム医療の充実／各部門より検討・報告	王丸	随時 13:00～
事務連絡会議 購買委員会	諸問題の検討・解決	廣瀬	毎月第1水曜 11:00～
看護職員の業務分担 推進会議	看護職員の負担軽減及び処遇改善を図る	古林	4月 管理運営会議終了後
師長・主任合同会議	役職としての個々の役割を理解し、職務を果たす 医療情勢の進歩をいち早くキャッチし自己研鑽する	古林	毎月第4金曜 13:30～
師長会議	看護運営全般について検討	前原	毎月第2金曜 15:30～
主任会議	看護業務改善・コスト管理 マニュアル作成・検討	坂上	毎月第3金曜 13:30～
ケア会議	ケアに関する検討・ケアマニュアル作成	田畑	毎月第3水曜 16:00～
家族会会議	患者家族と協力して看護の充実を図り、お互いの親睦を図る	内田	毎月第2火曜 15:30～
互助会会議	融和共済を図り、相互福祉の精神により、よりよき職域の建設に努める	前田	随時
認知症初期集中チーム 員会議	支援者の方針検討	松浦	毎月第3火曜 14:00～



フォトコンテスト入賞作品
「 阿蘇の無人駅 」

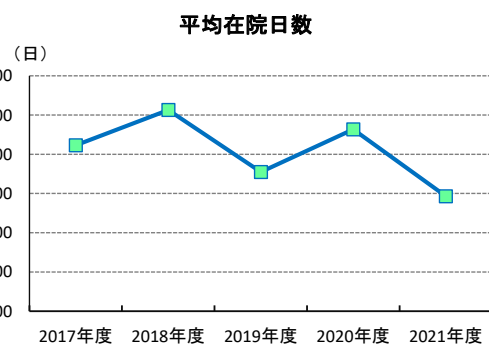
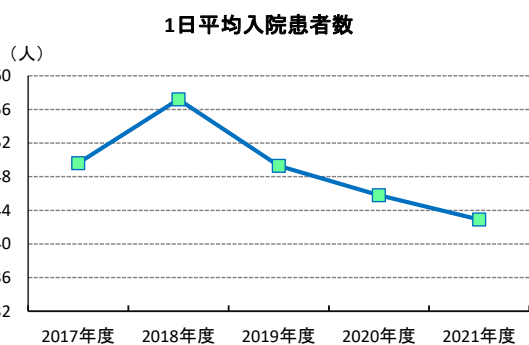
Ⅱ. 統計

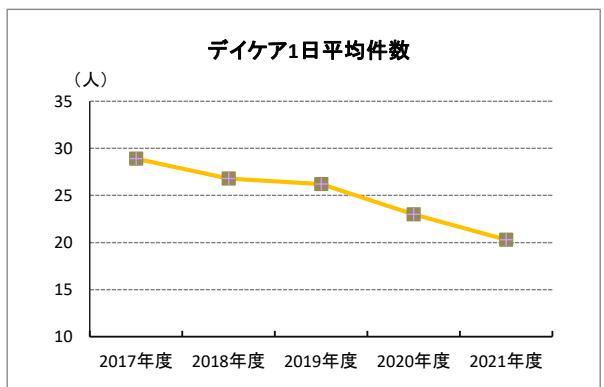
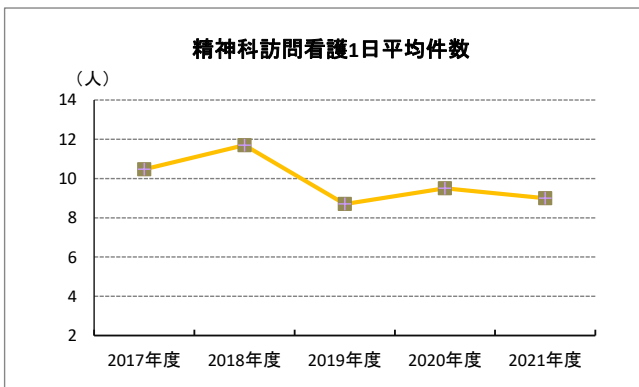
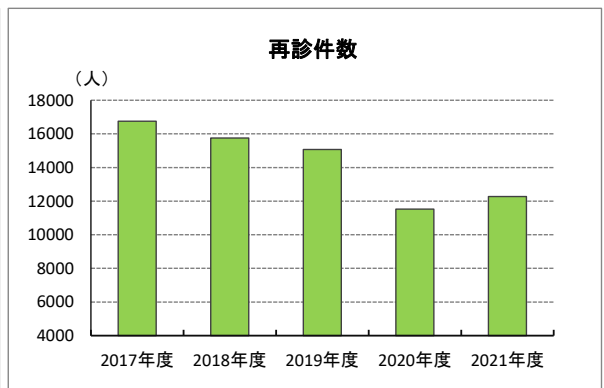
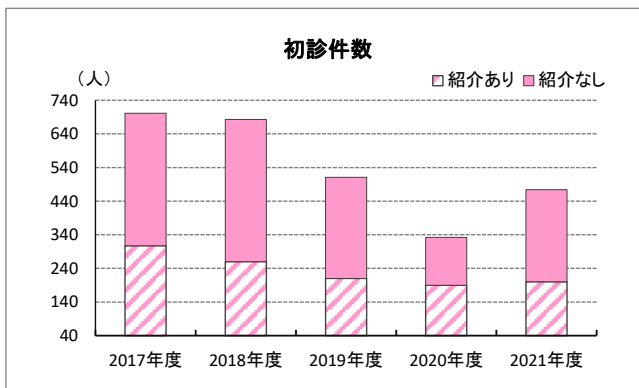
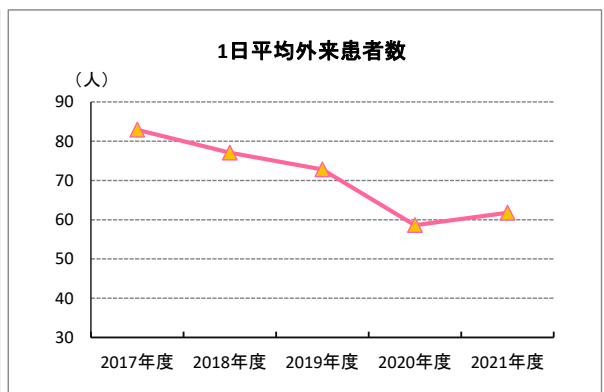
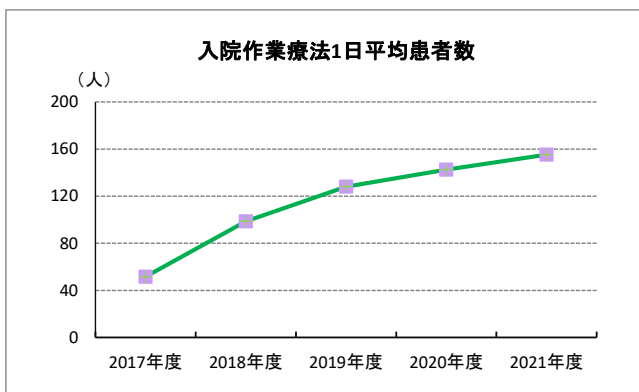
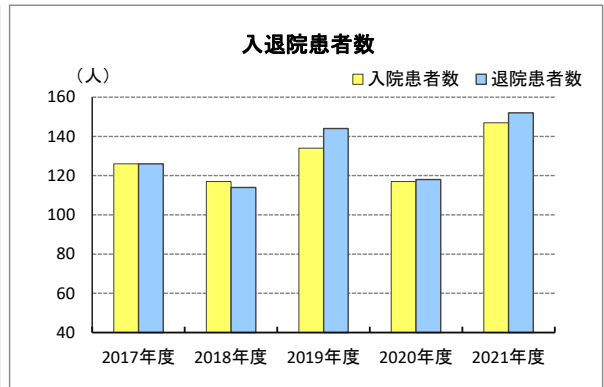
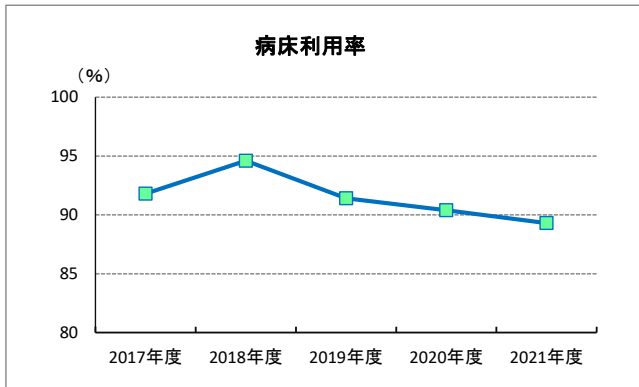
II

患者状況および診療件数

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
入院患者情報	1日平均入院患者数	249.6	257.2	249.3	245.8	242.9
	平均在院日数	723.0	812.8	654.9	763.7	593.2
	病床利用率(%)	91.8	94.6	91.4	90.4	89.3
	入院患者数	126	117	134	117	147
	退院患者数	126	114	144	118	152
	入院作業療法1日平均件数	51.6	98.6	128.1	142.5	155.2
外来患者情報	1日平均外来患者数	82.9	77.1	72.8	58.6	61.8
	初診件数	701	683	511	332	474
	(うち紹介数)	307	260	210	190	200
	再診件数	16,748	15,755	15,077	11,523	12,277
	精神科訪問看護1日平均件数 (認知症訪問看護含む)	10.5	11.7	8.7	9.5	9.0
	デイケア1日平均件数 (ナイトケア・ショートケア含む)	28.9	26.8	26.2	23.0	20.3

※認知症訪問看護H30年度3月～開始







フォトコンテスト作品
「 干潟散歩 」



フォトコンテスト作品
「 ねねこねこ 」

Ⅲ. 研修・研究報告

医局 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
2021年度 第1回認知症サポーター医養成研修	5月29日	Web	金丸
第57回 日本医学放射線学会	9月17～19日	Web	宮尾
日本精神神経学会 専門医更新	10月	Web	垣内
第35回 ミッドウインターセミナー 日本放射線科専門医会	1月15～16日	Web	宮尾
第8回 認知症サポーター医養成研修	2月	Web	五十嵐
第9回 認知症サポーター医養成研修	3月	Web	二又

看護部 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
精神科における感染対策	4月17日	Web	古林・平田
厚生労働省委託事業 院内感染対講習会	10月～12月	Web	坂上
日精看熊本支部研修会 アンガーマネジメント	10月16日	Web	松原・野田 立川・平田
令和3年シニアコース後期スクリーニング	11月8～10日	Web	本山
令和3年度熊本県市看護職員認知症対応力向上研修会	10月30日	Web	吉丸・古林
令和3年度地区別看護管理者会	11月10日	玉名	古林
精神科救急情報センター相談員研修会	11月11日	Web	古林
日精看熊本支部研修会 摂食・排泄研修会	11月13日	Web	中山・浅名
有明地域看護職員研修会 感染管理	11月17日	荒尾	坂田さ・水島
有明地域看護職員研修会 感染管理	11月26日	玉名	中島か
熊精協看護管理者研修会 看護管理	12月9日	Web	吉丸・前田 石本・古林

認知症疾患医療センター 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
第22回 一般社団法人 日本認知症ケア学会	6月5日～10月5日	Web	井上(ポスター発表) 石崎賞受賞
院内研修(主催) 「スマートシティ構想について」	8月18日	Web	宗・井上・嶋田
第36回 日本老年精神医学会	9月16～18日	Web	宗(口頭発表)
北熊神経精神カンファレンス 発足記念講演会(後援)	10月6日	Web	宗・井上・嶋田
第34回事例検討会(主催)	10月20日	Web	宗・井上・嶋田
荒尾市医師会 学術講演会 第1回 地域における医療と介護のつながりを深める 研修会(後援)	11月15日	Web	宗・井上・嶋田
第9回 認知症疾患医療センター全国研修会 福井大会	1月29日	Web	宗・井上・嶋田
若年性認知症受入促進委託事業(後援)	3月10日	Web	宗・井上・嶋田
第35回事例検討会(主催)	3月22日	Web	宗・井上・嶋田

栄養科 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
熊精協栄養部小委員会研修会	6月3日	Web	前田

医療相談室 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
自死遺族支援者研修	10月15日	熊本	丸山
引きこもり理解のための講演会	11月5～6日	熊本	丸山
精神科救急情報センター相談員研修	11月11日	Web	内田・丸山
熊本県サービス管理責任者基礎研修	11月11～12日	熊本	松隈 (ファシリテーター)
災害に備えての支援者のスキルアップ研修会	11月18日	熊本	丸山
災害復興期のこころのケア研修会	12月8～9日	熊本	丸山
熊本県サービス管理責任者基礎研修	12月9～10日	玉名	松隈 (ファシリテーター)
熊本県サービス管理責任者基礎研修	12月20～21日	熊本	松隈 (ファシリテーター)
熊本県精神科協会コ・メディカル部会(総会・研修会)	1月17日	Web	松隈・丸山
地域精神保健福祉医療担当者自殺対策企画研修会	2月17日	Web	内田・野口 丸山

臨床心理室 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
熊精協コ・メディカル部会 総会・研修会	6月15日	Web	猿渡
熊本県認知症疾患医療センター事例検討会	6月26日	熊本	山口
熊本県発達障がい医療センター発達障害事例検討会	8月7日	Web	宮野・猿渡
熊本県認知症疾患医療センター事例検討会	9月11日	熊本	高村
熊本県自死遺族支援者研修会	10月15日	熊本	高村
地域拠点型認知症疾患医療センター事例検討会	10月20日	荒尾	高村(他3名)
熊本県ひきこもり理解のための講演会	11月5～6日	熊本	宮野
災害に備えての支援者のスキルアップ研修会	11月18日	熊本	大城
熊本県アルコール関連問題学会	11月27日	Web	猿渡
災害復興期のこころのケア研修会	12月9日	熊本	大城
熊本県認知症疾患医療センター事例検討会	12月11日	熊本	大城
ストレスチェック実施者養成研修会	12月12日	福岡	宮野
第17回九州アルコール看護研究会	1月22日	Web	猿渡
熊本県認知症疾患医療センター事例検討会	2月5日	熊本	高村
地域精神保健福祉医療担当者自殺対策企画研修会	2月17日	Web	高村・猿渡
地域拠点型認知症疾患医療センター事例検討会	3月18日	荒尾	高村

臨床検査室 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
令和3年度 熊本県臨床検査精度管理研修会	2月7日	Web	田中
新型コロナウイルス感染症のワクチン接種基礎研修(座学)	7月9日	Web	田中

事務部 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
安全運転管理講習会(熊本県公安委員会主催)	8月31日	Web	廣瀬
令和4年度 診療報酬改定説明会	3月25日～4月4日	Web	廣瀬

作業療法室 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
九州作業療法学会2021 in熊本	6月19～20日	Web	藤木・大淵 平山・田上
2021年度厚生労働省指定臨床実習指導者講習会	2月19～20日	Web	今林・平山

院内研究発表実績

研修会	開催日	演題	発表者
外部報告会	8月18日 (9月27日～ 10月24日視聴)	あらおスマートシティ構想について	荒尾市スマート シティ推進室 宮本賢一氏
令和3年度 第35回 院内看護、 コ・メディカル 研究発表会 (大会議室)	2月25日 (5月2日～ 6月5日視聴)	体感幻覚による抑うつおよび活動性の低下がある患者に対するリラクセーションの効果	南2病棟 内苑郁子
		精神科病棟における患者の対応に対する怒りの場面と対処法～アンガーマネジメント実践の効果～	5病棟 立川健一
		認知症高齢者における浮腫および転倒リスクに対する 入床介助の効果	西1病棟 池松康代
		新型コロナウイルスワクチン接種の開始による精神科外来看護師のストレスに関する研究	外来 本山幸子
		精神科病棟における幻覚、妄想のある患者に対するWellness Recovery Action Planを活用した 看護介入の効果	南1病棟 平野佑
		認知症高齢者の食事介助に関わるスタッフの不安と困難感	西2病棟 中山怜
		コロナ禍におけるデイケアの役割～役割を再認識するためのアンケート調査を実施して～	デイケア 藤木昭彦
		自施設における新型コロナウイルスS蛋白抗体価の推移とワクチン接種における副反応の発現頻度について	検査室 田中由紀子

院内研修実績

研修会名	開催日	対象者
院内看護、コ・メディカル 研究発表会	令和4年2月25日 (視聴5月2日～ 6月5日)	全職員
新人職員研修	7月21日 10月4日6日8日 10月22日	新入職員
行動制限最小化委員会	9月21～26日 3月22～29日	全職員
院内感染対策委員会	8月24～30日 2月8～19日	全職員
医療安全対策委員会	6月22～26日 2月22～28日 3月1～7日	全職員
個人情報保護委員会	7月29日～8月7日	全職員
接遇委員会	9月14～30日	全職員
防火防災委員会	3月15～21日	全職員
一般救急研修 外部報告会 認知症研修 悪性症候群研修 精神保健福祉法研修 統合失調症・気分障害研修	6月21～27日 8月18日 9月13～20日 9月20～30日 10月4～11日 1月10日～2月7日	全職員

看護部門院内研修実績

研修コース名	開催日	対象者	内容
集合研修 (部署にて開催)	4月～5月	看護職 介護職	①令和2年度部署目標把握(達成発表会) ②令和3年度目標管理シート作成
看護補助者研修	10月13.20日 11月2.5.11日	看護補助 者	精神保健福祉法における看護保護者の役割
介護技術研修	12月6～12日	看護職 介護職	オムツの当て方、オムツパットの説明

リハビリテーション科作業療法室 実習受け入れ実績

学校名	実習内容	人数	期間
駅前看護リハビリテーション学院	臨床実習	1名	4月12日 ～ 6月12日



フォトコンテスト作品
「 秋空 」



フォトコンテスト作品
「 今年の春はどこにいきましょう? 」

IV. 部署紹介

IV

部署紹介

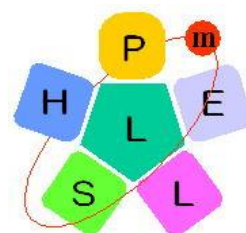
当院には様々な部署があり、患者様やご家族をトータル的にサポートするシステム作りに取り組んでいます。

医療安全管理室

専従の医療安全管理者を配置し、医療の質を管理することにより、療養中の患者様の安全確保に努めております。

このほかにも、医薬品の安全管理（副作用情報の収集）や、院内感染対策と感染症の流行情報の把握、医療機器の保守管理と安全使用についての情報収集を行っています。また、院内で発生したヒヤットとした事例を収集しており、その数は年間 1,500～2,000 件程あり、その分析により重大事故に対する予防措置を講じています。

具体策の一例としては、転倒・転落のリスクが高い方に衝撃吸収マットや離床センサーを活用し、転倒・転落による骨折事故発生の軽減に努力しております。このほかにも患者様が安心して療養に専念できる環境について、定期的に担当者が院内を巡回し、院内での重大事故及び感染発症ゼロをめざして取り組んでいます。私たちこころの郷病院職員は、これからも安心・安全な医療の提供に努力して参ります。ご不信な点がございましたら、いつでもご遠慮なくお声をかけてください。



薬局

薬局では、薬剤師・薬局助手 計 6 名で外来・入院患者様のお薬の調剤、服薬指導や外来患者様へのお薬の情報提供、患者様が持参されたお薬の鑑別および医薬品情報の収集などを行っています。

患者様に、より早く正確に、お薬と情報を提供できるように日々心がけています。お薬の事で、わからない事や飲みにくい事など、何かございましたら気軽にご相談ください。



なお、お薬手帳をお持ちの患者様は、
受付時でのご提出をお願い致します。



外来

荒尾こころの郷病院では、認知症、うつ病や神経症などのストレス性障害、睡眠障害等、こころの病の患者様の困りごとや悩みなどの相談から始まり、個人に合った検査や治療を提供しています。

また、熊本県の地域拠点型認知症疾患医療センターに認定され、認知症疾患に関する鑑別診断や専門医療相談を行い、有明地域の認知症疾患のご本人・ご家族の生活がよりよく送れるよう一役を担っていきたいと思っています。

これからもかかりつけの先生方や施設事業者の方々、ご家族と連携を図りご本人様の生活が居心地よいものになるように尽力を尽くしていきたいと考えています。

○新規の受診は、予約制となっておりますので診察日まで
“すこし” 時間がかかる場合がございます。予めお電話でお問
い合わせください。相談員が事前に現在のご様子をお伺いし、
担当のドクターと診察日を決定したうえでご連絡いたします。

○新型コロナウイルス感染対策を当院でも行なっております。
安全な診察の為に、来院の際はご協力をお願いいたします。



事務部

私たち事務部は、医事課と総務課に分かれております。人員については、今年度に2名の新入職員も入り、合計12名の新体制で業務に励んでおります。

医事課は、保険請求が主な仕事ですが、その他窓口での受付、会計、電話対応。更に入院に関しては入院手続きから預り金（お小遣い）管理を行なっております。

総務課は、物品管理、設備関係管理、職員の人事管理や勤怠表作成、経理財務管理、医療統計書類作成等を行なっております。

また、私たち事務職員は病院の顔として、今年度接遇目標である「マスクからあふれる笑顔を届けよう」を基に、相手の立場を思いやった接遇を心掛けていきたいと思っています。

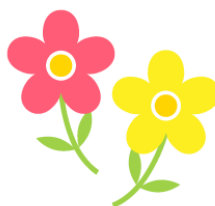


南 1 病棟

南 1 病棟は、亜急性期・慢性期また内科的治療を必要とする男女混合の閉鎖病棟です。確認される症状も各疾患やその経過により様々で、スタッフ一同、患者様の生活の質の向上・症状の安定または退院へ向け、積極的に社会復帰のへ取り組みを日々行っております。なかでも病棟一丸となり、近年精神科領域においては特に注目されている、精神科患者様への治療的技術介入でもある WRAP（元気回復行動プラン）も個々に取り入れ、関りをもたせていただいております。

また、病棟内においても病棟専従の作業療法士が中心となり、精神科リハビリに必要の援助も行っています。他職種により連携を図りながら治療的アプローチを行うことで、患者様自身に主観的な自覚をもたらし、療養生活においても日々に良い変化を認めており、スタッフの喜びとなっています。

今後も、療養を必要とする患者様のライフステージの一部に携わらせていただけることに自覚を持ち、引き続きご支援させていただきます。



南 2 病棟

南 2 病棟は精神療養病棟で男女混合の開放病棟です。当病棟の患者様は、症状の安定された患者様や退院を目標とされる方、長期的に治療・療養の必要な方へ、OT（作業療法）・日常生活指導を行い、個人の能力に応じた日常生活の支援や社会復帰を目指した様々な活動を提供しています。また、季節に応じた病棟レクや、活動の充実を図るため新たな活動の計画をしています。

コロナ禍で外出制限が続いていますので、今年も地域のことを知ってもらい、楽しみとなるよう、荒尾市内のお弁当を頼み、食事会の開催など、地域にも目を向けた支援を継続していきます。今後も社会生活能力維持・向上のため、その方に合った目的を患者様と一緒に見つけ、達成できるように他職種連携を図りながら取り組んでいきたいと思っています。



秋の運動会



忘年会&紅白歌合戦



スイカ割り

5 病棟

5 病棟は平成 4 年に建築された当院の中で最も古い建物で、精神一般病棟（閉鎖病棟）です。1 階が身体合併症治療病棟、2 階が男性の精神一般・PICU（保護室）を持つ、構造上において機能分化された病棟です。急性期の患者様や慢性期の患者様、身体合併症の患者様が入院されていますので、患者様の治療方針を考慮しながら患者様のご意向を大切に、個々に応じた療養環境の提供、看護、介護を行っております。また、患者様が 1 日も早くその人らしいライフステージが送れるように、病院理念を大切に多職種・他部署と連携を図りながら、ケアの提供を行っています。



西 1 病棟

西 1 病棟は認知症治療病棟です。認知症の方は脳の機能障害により、さまざまな周辺症状から生活上の問題が生じてきて、認知症の方をはじめそのご家族も不安を抱えておられます。

私たち職員は、患者・ご家族様の不安が少しでも軽減できるようにチーム医療を発揮し、生活機能訓練・身体機能訓練、季節の行事や創作活動を通じて元気な体を作り、季節の移り変わりを感じる機会を持てるように心がけています。これからも病棟スタッフが他の職種と連携し、その方一人一人の人生が豊かに、そして素晴らしいものとなるよう、ふれあいを大事にしていきたいと思います。

昨年に続くコロナウイルスの影響により、面会制限の期間が長くなっており、患者・ご家族様にとって、寂しく、不安な日々を送られていることと思います。「私たちにできることは何か」を考えて、日々感染防止対策に取り組みながら、安心・安全な療養環境を提供できるよう努めてまいります。



西 2 病棟

西 2 病棟は認知症治療病棟です。認知症による周辺症状（夜間せん妄・不眠・幻覚・妄想・徘徊・抑うつ・異食など）で日常生活が困難になっている患者様に対し、専門的なケアを行い周辺症状の早期改善に努めています。生活機能訓練と並行して、精神科作業療法も実施しています。

また、1 年を通して季節を感じられる行事活動を行い、コミュニケーション能力の維持、回復にも努めています。一昨年よりコロナウイルスの影響で活動の収縮となっていましたが、感染対策を行いながら可能な範囲で活動を実施しています。安全を意識し、患者様が笑顔で安心して入院生活が送れるよう、患者様の立場に立ったやさしく思いやりのある看護・介護を提供していきます。



臨床心理室

臨床心理室では、心理検査やカウンセリングを通して、「こころ」のお悩みを抱えた方やご家族の皆様の問題解決のお手伝いをしています。お子様からご年配の方まで、様々な方のお悩みに寄り添って、一緒によりよい道を探していけたら幸いです。

2021 年度から週に 1 日水曜日に、久留米大学の医局から新しく心理師の先生にお越しいただくことになりました。お若い先生ですが、とても知識と経験が豊富な方で頼れる兄貴といったところです。先生のお力をお借りして、我々も今以上に心理師としてステップアップしていきます。

和気あいあいとした部署なので、ピンクとブルーの白衣を目印に、どうぞお気軽にお声かけください。スタッフ一同お待ちしております。



検査室

検査室はX線室と臨床検査室があり、X線室では放射線技師がX線撮影や超音波検査を、臨床検査室では臨床検査技師が血液・尿・便・心電図・脳波・新型コロナなどの検査をそれぞれ対応しています。

病気の予防や早期発見、治療効果の判定のお手伝いができるよう、機器の精度を保ち、迅速で正しい検査情報の提供を心がけています。

検査の事で分からないことがありましたら、遠慮なくお声かけください。



認知症訪問看護

介護保険を併用している高齢者を中心に、看護師 1 名と作業療法士 1 名で 12 名程の方を対象にご自宅を訪問させていただいています。あわせて荒尾市から委託を受けた、認知症の疑いのある人や家族への訪問も行っています。現在は covid-19 の影響で訪問と訪問の間隔を開けているので、比較的ゆっくりと対象者のご自宅を回らせていただいています。暑さ、寒さ、大雨など過酷な状況での訪問もありますが、四季折々の風景に触れたり、対象者の労いの言葉をいただいたりすることが励みになっています。



精神科訪問看護

精神科訪問看護は、患者様・ご家族の了解を得て、医師の指示で看護師・准看護師・作業療法士または精神保健福祉士の 2 名で生活の場にお邪魔させてもらっています。

訪問看護をいつも快く受けてもらい、患者様・ご家族に感謝の気持ちで一杯です！少しでも皆様方から“訪問に来てもらってよかった”と思っていただけるよう、支援させていただきます。些細なことでも悩んだり困ったりしたら、訪問看護にいつでも相談してください。一緒に考えて、悩んで解決していきましょう。訪問看護についてご質問・ご相談がありましたら遠慮なくお声かけください。



医療相談室・地域連携医療相談室

病院内外でたくさんの人たちに支えていただき、みなさまとの出会いに心から感謝しております。

私たち精神保健福祉士は、荒尾こころの郷病院にかかわる方々が穏やかに暮らせるよう、様々なお話を聞かせていただいています。

受診・入院相談から退院後の生活、各種福祉制度の紹介、経済的な問題などご相談ください。そして、医療機関、福祉施設、行政機関との連携を行ない、安心して精神科医療を受けることができる環境を整えていきます。話しをするのが大好きなメンバーばかりです。お声かけくだされば幸いです。



認知症疾患医療センター

認知症疾患医療センターでは電話や来院による、ご本人・ご家族・関係機関からの相談対応や、認知症疾患に関する鑑別診断、認知症に伴う行動心理症状に対する急性期治療、地域の保健医療・介護関係者への研修会開催等を行っています。

「最近物忘れが多くなった」「何か様子がおかしいかも…」など少しでもご心配な場合は、いつでもお気軽にご相談ください。



栄養科

1 日におよそ 750 食（デイケア食含む）のお食事を提供しています。月に 1 回、季節に応じた行事食を取り入れ、患者様の嗜好やアレルギーなどにも配慮した給食の提供を行っております。

患者様おひとりおひとりの病状に合わせて、美味しく安心安全の食事が提供できるよう努めています。

また、管理栄養士における栄養食事指導・栄養相談も実施しております。食事・栄養についてご質問がありましたら、お気軽にご相談ください。



精神科作業療法室

精神科作業療法とは：種々の精神疾患により生活に障害を持った方々に対し、個別あるいは他の人との関わりや、具体的・現実的な作業活動（遊び・創作的なものから日常生活に関するものまで）を利用し、精神機能の向上、対人関係の改善、作業能力の改善などを図り、その人にとってより良い生活が送れるように、指導・援助を行います。

集団について：精神科作業療法では主に集団によるリハビリテーションを行います。その治療的因子を以下に少しだけご説明致します。

1. 希望をもたらす

「何だかホッとする」「もう一度やれそう」と思えること

2. 普遍的体験

「自分ひとりじゃなかった」「大きな安心」という体験

3. 受容される体験

自分の存在そのまが受け入れられ、癒されて、自分を受け入れられる。そこから新たな生活へと歩き始められる。

4. 愛他的体験

自分が他人の役に立つ喜びが、自分自身を大切にする気持ちへつながる。

5. 情報の伝達

「そういう方法もあるのか」人が集まれば、多くの助言や情報が得られる。

6. 現実検討

「ああそうか」人は他者を物差しに自分を確かめる。自分に対する気づきは、他者の反応が鏡。

などがあります。このような集団の治療的な因子を用いて、対象者の皆様へよりよいリハビリテーションを提供することが、私たち、作業療法士の大きな目的の一つです。



精神科デイケア

デイケアでは地域社会で生活されている方を対象に、活動を通して人との交流や居場所の提供をするとともに、安定し充実した在宅での生活が送れるように、趣味的な活動を取り入れたり、身体能力の維持向上を目的とした活動をしたり、集中して行うことで、精神的な安定や気分転換につながる活動を行うことで、生活の支援をしています。また、就労を希望される方への支援も行っていきたいですが、コロナ禍の中、できていないのが現状です。

◎精神科デイケアの目的

- ・規則正しい生活リズムを身につける
- ・人との付き合い方を学び、仲間を作る
- ・社会的自立の準備を行う

◎プログラムの例

- 1) デイケアファーム（園芸）：季節の野菜の種・苗植えから行い、収穫⇒試食までを行います。（大根・レタス・とうもろこし・きゅうり・トマト・さつまいも・豆類等）
- 2) スポーツ：ゲートボール・モルック・グラウンドゴルフ・野球
- 3) 革細工：作品を作る喜びと使う喜び、そしてプレゼントする喜びがあります
- 4) イベント：ゲートボール大会・夏祭り・デリバリーの日など、楽しいイベントも実施しています。





フォトコンテスト作品
「 遠き島より 」



フォトコンテスト作品
「 夕暮 」

V. 活動報告

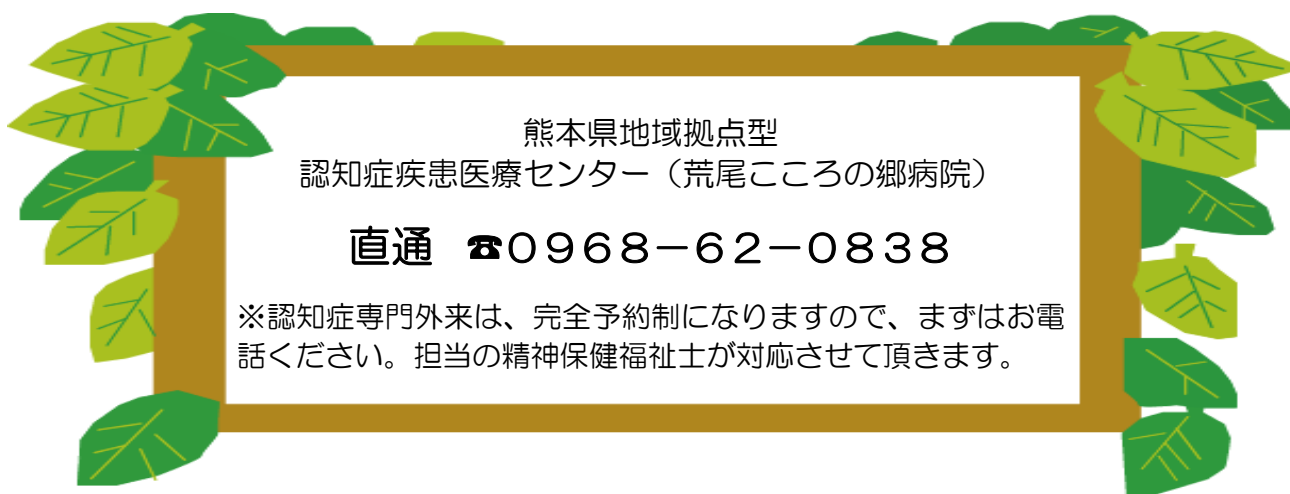


熊本県地域拠点型 認知症疾患医療センター

平成 23 年 4 月に熊本県の指定を受け、開設されました。

認知症の方やご家族のみなさんが住み慣れた地域で、安心して生活を送ることが出来るように行政や地域の医療機関、介護事業所等と連携を取りながら、ひとつひとつのケースに対応させて頂いています。

「最近、ちょっと様子が変わったな?」「もしかして認知症かな?」と少しでもご心配の方がおられましたら、お気軽に当センターへお電話ください。



令和 3 年度 活動内容

- ・地域拠点型認知症疾患医療センター 事例検討会 年 2 回 Web 開催
- ・日本老年精神医学会 Web 発表
- ・日本認知症ケア学会 Web 発表
- ・日本医療研究開発機構
「健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究」研究協力
- ・地区座談会協力
- ・地域ケア会議等への参加



令和 4 年度も地域に対する認知症の普及啓発のため、Web 研修も活用しながら、
各種研修会・事例検討会等を予定しております。
沢山の方々のご参加を心よりお待ちしております。



グループホーム「わたぼうし」

「わたぼうし」は、障害をかかえ地域生活に不安がある方や地域での自立した生活を目指している方などを支援する施設として、平成 23 年 6 月に開設しました。

落ち着いた明るい雰囲気で共同生活を送ることができるように、暖かい家庭をイメージした作りになっています。

利用者の方たちは、就労支援事業所やデイケアなどに通所して、それぞれの目標に向けて過ごしております。スタッフも毎日笑顔でそれを見送っています。

これからもよろしくお願いします。

「わたぼうし」の名称は、
“タンポポの綿毛のように地域に根付いていけるように”との願いを込めてつけました！



施設の概要

種 類	精神障がい者 共同生活援助事業所
定 員	5 名（女性専用）
居 室	全室個室（洋室）エアコン完備

設置主体	医療法人 洗心会
協力医療機関	「荒尾こころの郷病院」
名 称	グループホーム『わたぼうし』
所在地	〒864-0051 熊本県荒尾市大島字松原 52 番地 2 Tel 0968-62-2588





A C S （アルコール教室）



同じ問題を抱えるメンバーとの交流を通して、アルコール依存症についての学習を深めながら、自らのアルコール問題を語り合い、自分を見つめなおす場です。

教室の名前は Alcohol cram school（アルコール塾）の略称で、メンバーさんからのアイデアです。



どんなことをしているの？

- 脳トレ（パズル、ゲームなど）
アルコールの多量摂取は脳の萎縮や機能低下を起こしますので脳の活性化を目指しています
- おたがいの近況報告や思いを語る
皆さんに順番が回ってきますが、発言は強制ではないので、パスもできます
- アルコール依存症やアルコールの害についての学習
動画やテキストを使って勉強していきます

など

スタッフからのメッセージ

決して堅くるしい会ではなく、和気あいあいと過ごしています
希望者には、外部の自助グループ（断酒会やAA）をご紹介することもできますので、興味のある方は、主治医やスタッフにお尋ねください





家族会会議

家族会会議では、荒尾こころの郷病院へ入院・外来通院されている方のご家族を対象に運営している病院家族会「青空会」の活動への協力や、同会の行事などへの参加案内などを行なっています。

◎令和３年度 青空会 活動報告



月	行 事
10 月	ふれあいピック (中止)
	全国精神保健福祉家族大会 in 東京 (不参加)
11 月	第 50 回 熊本県精神障がい者家族大会 (中止)
	有明地域こころのネットワーク推進事業 ハートフルコンサート (中止)
2 月	青空会と荒尾こころの郷病院スタッフとの懇談会 (中止)
3 月	荒尾・長洲地域家族会行事 (中止)

※令和３年度の活動は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、殆どが中止となりました。



栄養科 令和3年度行事食

月	日	行事食
4月	5日	お花見弁当
5月	5日	端午の節句ランチ
6月	17日	紫陽花御膳
7月	7日	七夕御膳
8月	23日	お祭り御膳
9月	20日	敬老お祝い御膳
	22日	お彼岸（おはぎ）
10月	29日	ハロウィンランチ
11月	24日	秋の懷石御膳
12月	24日	クリスマスランチ
令和4年1月	1日	おせち料理
2月	3日	節分行事食
3月	3日	ひなまつり御膳



七夕御膳



敬老お祝い御膳



クリスマスランチ



節分行事食



レクリエーション紹介

当院では、年間を通して様々な行事を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、予定していた院内レクリエーションは昨年同様すべて中止となりました。このような状況下でも、患者さまのために少しでも楽しみの一つとなるよう、レク委員や作業療法士が中心となって、各病棟レクリエーションにさらに力を入れて行なっています。またあの時の賑わいに戻れたらいいですね。

◎年間レクリエーション紹介（令和３年度）

	院内レクリエーション	病棟レクリエーション
4 月	ゲートボール大会(中止)	お花見
5 月	合同バス旅行(中止)	端午の節句／宝探し
6 月	熊精フェスタ(中止)	茶話会／風船バレー大会
7 月		七夕会／そうめん流し／スイカ割り
8 月		スイカ割り／かき氷大会／ミニ夏祭り
9 月	敬老会(中止)	敬老会
10 月	秋祭り(中止)	ミニ運動会
11 月	ペタンク大会(中止)	カラオケ大会／お楽しみ会
12 月	餅つき大会(中止) クリスマス託児所訪問	クリスマス会／忘年会
1 月		新年会
2 月	節分(中止)	節分／茶話会
3 月		ひな祭り会／茶話会



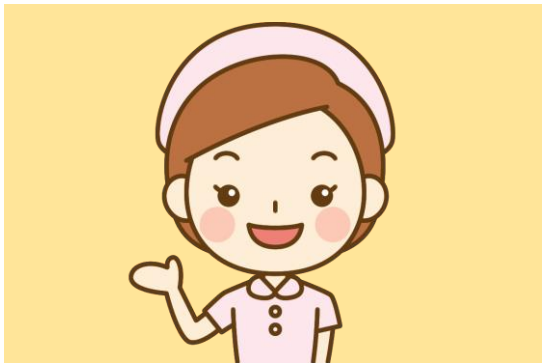


フォトコンテスト作品
「御船山楽園」



フォトコンテスト作品
「高千穂峰とミヤマキリシマ」

VI. 新入職員紹介



看護師 新澤 弥子

令和3年4月に入職しました5病棟看護師の新澤弥子です。生まれも育ちも大牟田市ですが、約10年間沖縄に住んでいたため時々沖縄弁が出たりします。

趣味は旅行で、海外旅行にも何回か行きました。コロナが落ち着いたら、また旅行を楽しみたいと思います。

入職して1年が過ぎ、仕事にも慣れ、楽しい毎日を過ごしています。これからも頑張っていきますのでよろしくお願いします。



看護師 山田 喜佐

令和3年12月から西2病棟へ入職しました山田喜佐と申します。入職して約9か月が経ちました。精神科病院での勤務は初めてで、しかも看護師の仕事にブランクもあり、当初は不安でいっぱいでしたが、病棟スタッフのみなさんにフォローして頂き、少しずつ仕事に慣れ、今では楽しく仕事をさせてもらっています。まだまだ勉強不足なことはたくさんありますが、経験を重ねながらしっかり吸収していこうと思います。

家に帰ると子供たちのお世話が待っているためなかなか自分の時間がとれませんが、隙をみてNetflixで大好きな海外ドラマを見てストレス発散しています。

これからゆっくりと着実に仕事のスキルを身につけていきたいと思いますので、どうぞ温かい目で見えていただければ幸いです。よろしくお願いします。





作業療法士 飛鷹 悠介

令和4年2月に入職しました、作業療法士の飛鷹悠介です。熊本県熊本市出身で生まれてこの方ずっと熊本です。作業療法室に配属され、気づけばあっという間に半年が過ぎました。初めての精神科で、右も左も分からない状態でしたが、優しいスタッフに支えられているお陰で毎日充実しています。作業療法士としてまだまだ未熟ですが、患者様に寄り添い、病院の力になれるように日々頑張りたいと思います。

学生時代はサッカー、野球、バスケと様々なスポーツをしていたので体を動かすことが好きです！最近はゴルフにハマっていますが、ゴルフ友達がいないのでゴルフのお誘いいつでもお待ちしております（笑）今後ともよろしくお願いいたします。



事務 内田 夏実

令和4年3月より医事課でお世話になっております、内田夏実です。精神科に勤めるのは初めてで覚えることは沢山ありますが、皆様からご指導いただきながら楽しく仕事をすることができています。日々、様々なことを吸収しながら成長していきたいと思います。

私は、主人・息子・犬2匹の5人家族です。小さい頃から犬を飼っており、犬なしの生活は考えられないほど犬が大好きです。いつもリビングの窓から2匹揃って私の帰りを待っていてくれます。その姿に癒され癒され、、、幸せだなあとほっこりします。早くコロナが収束し、思う存分お出かけや旅行を楽しめる日がくればいいなと思います。

笑顔での対応を心掛け頑張りますので、今後ともよろしくお願い致します。

医療法人 洗心会

荒尾こころの郷病院年報

2021(令和3)年度

2022年 10月刊行

編集・作成 広報委員会

大淵伸也

藤田 茜

廣瀬義和

古賀皓民

坂本祥子

佐藤麻紀

高木麗奈

高村真穂

松石博典

宮西秀明

吉本知美

医療法人 洗心会

荒尾こころの郷病院

病院長 王丸 道夫

〒864-0041 熊本県荒尾市荒尾 1992 番地

TEL 0968-62-0657

FAX 0968-62-2565